

平成 28 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

リサイクル発電システムを活用した新規事業開始の検討について

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり新規事業の開始を検討することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の目的

当社はこれまで、太陽光事業に参入し、太陽光発電機器の販売、太陽光発電所の建設、販売を行ってまいりました。

平成 25 年度から主に南九州エリアの太陽光発電施設候補地を取得するため、現地調査等を行った際、地元の行政関係者や地主の方々から、地元での太陽光以外の再生可能エネルギー発電事業の紹介を受けておりました。しかしながら、当時、当社は太陽光事業に注力しており、他の再生可能エネルギー発電事業を手掛けるだけの余裕がなく、いろいろな情報を収集しておりましたが、他の再生可能エネルギー発電事業についての取り組みを考えておりませんでした。

現在、国内における太陽光事業が伸び悩んでいるため国外に目を向けた展開を模索しています。それと並行し、太陽光以外の再生可能エネルギー発電事業について、再度情報を収集し当社で取り組めないかと検討を重ねてまいりました。

この度、当社が企画・検証したリサイクル発電システムは、リサイクルプラントとその資源から発電する発電プラントを融合した統合的なシステムです。

リサイクルプラントは、石油由来廃棄物を油化する特殊なプラントで、低温・低圧の熔融炉を使い時間をかけてオイルを抽出し、炭化物などの残渣に関しては固形燃料化するため、廃棄物の量を極限まで減らすことが可能なプラントであることを、開発者の説明や試行の立ち合い、生成物の分析等により評価しております。

このプラントにより生成されるものは、オイル、固形燃料等であり、石油由来廃棄物の処理収益と生成物の販売収益と二つの収益構造を有しております。また、オイルや固形燃料が生成されることから、①当プラントを稼働させる電力の供給（節電効果）②余剰電力の電力小売り業者への販売（生成物による確実な売上）を目的として発電プラントを併設し、より高い収益の確保を目的としております。

一方、オートモービル関連事業として株式会社 J P マテリアル（以下、「J P マテリアル」といいます。）を子会社化し、エンジンオイルの販売を中心とし、四輪、二輪車に関わる事業展開を現在も精力的に模索しています。J P マテリアル社のネットワークを生かし、石油由来廃棄物の中でも廃タイヤに特化したリサイクルプラントとして、環境保全、再資源化が可能な未活用資源のリサイクルを目的としています。

2. リサイクル発電システム概要

リサイクル発電システムは、廃棄され未活用の廃タイヤの再資源化をおこなうリサイクルプラ

ント(油化プラント)と生成された再生オイルを使用する発電プラントを融合した一体型の処理、再資源化とともに発電を行うシステムです。リサイクルプラントの想定処理能力は、1日14トン、再生される想定生成量は、オイル約5,000ℓ、固形燃料約2,000kg、鉄線1,000kgです。

現在、再生されたオイルを発電機の燃料用に精製し、すべて発電に用いることを計画しておりますが、発電プラントに関しては、内燃機型発電機で、最大2,000kWhの発電プラントとなり、プラント稼働消費電力は、最大で100kWhとなる見込みであり、余剰電力を電気小売業者に売電することが可能です。

また、生成された固形燃料に関しては、高炉会社、アルミ精錬会社、廃棄物処理の焼却炉の補助燃料として販売する予定ですが、上記の小資源の発展途上国向けの輸出も視野に入れていきます。副産物である鉄線は、流通マーケットがあるためマーケットでの処分が可能だと考えております。

3. 事業の構築

当社は今回のリサイクル発電システムを活用した事業について、パイロットプラントの建設が必須であると考えておりますが、①リサイクル発電システムを当社が建設し当社が運用する ②リサイクル発電システムを提案し販売する ③鹿児島県でのリサイクル発電システム建設、運用の斡旋を検討、検証しており、現段階においては、当社の事業形態および開始時期を慎重に検討しています。

4. 日程

本事業について、平成28年度中に事業形態、開始時期を判断する予定です。

現在、鹿児島県薩摩郡さつま町の非営利法人である一般社団法人バイオマスタウン(代表理事:井上章三県議会議員、環境厚生委員長)の推進する鹿児島県並びにさつま町の活性化プロジェクトに参加し、雇用促進、遊休地の有効利用等の一助になることを目的に、当該リサイクル発電システムの設置に関して、協議を始めております。

平成28年6月17日に鹿児島県において、上記社団法人のプレス発表が開催され、当該リサイクル発電システムの説明をさせていただくこととなりました。

5. 今後の見通し

具体的な事業計画、日程、業績に与える影響について、確定した時点で速やかにお知らせいたします。

以上